

中日新聞

- 創 立 / 1942年
- 代表取締役社長 / 小出宣昭
- 売 上 高 / 1480億9930万円(2012年3月期)
- 従 業 員 数 / 3197人(2012年7月1日現在)

中日新聞社は、地域密着型の一般紙として中日新聞、東京新聞、北陸中日新聞、日刊県民福井、また、専門紙として中日スポーツ、東京中日スポーツを発行している。配布エリアは中部・関東地方一円の16都県、発行部数は402万部。世界11カ国に特派員、通信員を置き、世界中を自力取材している。



「紙」にプラスしたサービス
「中日新聞プラス」は購読者に各種情報を提供する会員制のネットサービスです。ニュースや朝夕刊、地方版紙面などのほか、クーポンやチケット購入などの読者優待、お出かけ情報などを一体的に提供しています。パソコンやスマートフォン、タブレットなどの端末でもアクセスするだけで利用することができます。

いわゆる「電子新聞」や「電子版」ではなく、あくまでも「紙」にプラスしたサービスであることが特徴で、サービスの対象は中日新聞、日刊県民福井、北陸中日新聞の定期購読者とその家族です。家族で中日新聞に親しんでもらい、永く読者であり続けていただくこと、また、若者世代にも新聞に関心を持ってもらうことを目的

「中日新聞プラス」のコンテンツは、ニュースやイベント情報、割引クーポンなど多岐にわたります。インテックは今回、既存のパッケージを利用するのではなく、「中日新聞プラス」専用のCMSを新たに開発しました。これは、操作性や使い勝手を優先したこと、パッケージ機能に制約されることなく中日新聞社の持つ優良コンテ

よりきめ細かく地域情報を発信
パソコン通信サービス(ニコロ)の提供以来、インターネット博覧会でのインバクサイトや記事検索システム、プロ野球球団コンテンツ(ドラゴンズ情報サイト、ドラゴンズSNSサイト)など、インテックは20年以上にわたって中日新聞社の電子メディアサービスの構築を支援してきました。今回、サービス開始まで約8カ月という短期間でしたが、これまでの構築ノウハウをベースにアジャイル手法で開発することで予定通りにサービスをスタートさせることができました。

半年で「中日新聞プラス」の会員は10万人を超えました。中日新聞社は地域の情報をよりきめ細かく発信し、新聞購読者へ「プラス」となる価値を提供する電子メディアサービスとして、「中日新聞プラス」を大きく成長させたいと考えています。

※アジャイル手法はソフトウェア開発手法のひとつ。アジャイルとは機敏なという意味。顧客要求や経営環境の変化に対して、俊敏かつ柔軟に対応することに主眼を置いて開発を進める。

プロジェクトチームで新サービス検討

新聞を読まない若者が増えるなど新聞を取り巻く状況が変化する中、中日新聞社ではインターネットを使った新たなサービスを考える電子メディア戦略チームを2010年春に立ち上げました。全社横断的に検討を重ねて誕生したのが「中日新聞プラス」です。2011年秋にシステム開発を開始、約8カ月後の2012年6月にサービスをスタートさせました。

操作性の良いCMSでコンテンツを魅力的に

インテックは「中日新聞プラス」のコンテンツ管理システム(CMS)を中心に担当しました。CMSとは、さまざまなデジタルコンテンツを統合的に管理し、WebデザイナーやIT技術者でなくても簡単にWebサイトの登録や更新ができるようにする仕組みです。

「MYページ」という機能。記事のクリッピングやクーポンイベント情報の保存、プレゼント応募や紙面投稿の履歴保存などができます。また、属性にあわせておすすめ情報を表示するほか、SNS機能も備えています。そのため、購読者本人だけでなく、同家族も一人ひとりが個別に会員登録できる家族会員制度を設けています。

また、CMS用サーバにはクラウドを提案、クラウド、オンプレミス双方のメリット、デメリットを検討した結果、最小規模でスタートし会員数や事業の拡大に合わせて増強するクラウドを採用することになりました。

Webで紙面と購読者を結ぶ

中日新聞 プラス

パソコン、スマホ、タブレット…で多彩なサービスメニュー

スマートフォンや携帯電話、パソコンなどさまざまな端末で使うことができる、中日新聞社の会員制インターネットサービス「中日新聞プラス」。

2012年6月のスタート以来、ニュース、朝夕刊、地方版紙面のほか、クーポンやチケット購入、お出かけ情報など盛りだくさんのサービスメニューを提供している。インテックはこの多彩なメニューを支えるコンテンツ管理システム(CMS)を提供した。



スマホ版トップ画面



電子メディア局長 伊藤 嘉英氏(前左列から2人目)とプロジェクトメンバー

●お客様の声

電子メディア局長 伊藤 嘉英氏
インテックには、電子メディア事業のシステム構築で大変お世話になっています。昨年6月にサービスインした「中日新聞プラス」は、電子メディアを使って定期購読者へのサービスを総合的に行い、新聞の読者維持を図るとともに若い層への拡大を狙った、当社の意欲的事業です。社内研究にはある程度の時間をかけましたが、システム構築の段階に入ってから、スタートの期限を決めていたので、CMSを担当していただいたインテックには随分と無理をいいました。しかしきちんとした対応で無事サービスインすることができ、大変満足しております。おかげさまで会員は約半年で10万人を超え、システムも順調に稼働しています。今後もサービス強化のため、引き続きおつきあいをお願いいたします。

イメージキャラクターの吉瀬 美智子さん